

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年9月13日

【四半期会計期間】 第18期第1四半期(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

【会社名】 株式会社ビューティガレッジ

【英訳名】 BEAUTY GARAGE Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 野村 秀輝

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 経営管理グループ統括責任者 齋藤 高広

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 経営管理グループ統括責任者 齋藤 高広

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第17期 第1四半期 連結累計期間 | 第18期 第1四半期 連結累計期間 | 第17期 |
|------------------------------|-------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 2018年5月1日 至 2018年7月31日 | 自 2019年5月1日 至 2019年7月31日 | 自 2018年5月1日 至 2019年4月30日 |
| 売上高 | (百万円) | 3,283 | 3,773 | 13,852 |
| 経常利益 | (百万円) | 117 | 158 | 646 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 | (百万円) | 75 | 85 | 380 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (百万円) | 75 | 70 | 380 |
| 純資産額 | (百万円) | 3,503 | 3,773 | 3,810 |
| 総資産額 | (百万円) | 6,266 | 6,336 | 6,827 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 | (円) | 11.93 | 13.51 | 59.80 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | 11.93 | - | 59.80 |
| 自己資本比率 | (%) | 55.0 | 57.9 | 54.9 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動については、前連結会計年度まで持分法を適用しない非連結子会社であった台湾美麗平台股份有限公司を重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善からの個人消費の増加を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減速懸念や、アジア新興国地域の景気も減速トレンドにあるといった不安定要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。

美容業界におきましても、顧客単価の下落や来店頻度の減少といった厳しい事象が続いており、結果として低価格店の登場や専門店への細分化、フリーランスの増加等、ビューティサロンの経営環境も変化してきており、生き残りをかけた店舗間競争が激化してきております。

そのような状況下、当社グループでは5月にBEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.の大型ショールームを台北にグランドオープンいたしました。延床面積約400㎡と美容サロン向け商材を扱っているショールームとしては台湾でも最大級の規模となっております。また7月には、BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD.でも延床面積約320㎡のシンガポール最大級のショールームをグランドオープンし、グローバル市場進出の体制基盤を整え販売拡大を目指しております。一方国内においては、物流センターのオートメーション化促進のための設備増強を行い、ロジスティクス業務の生産性向上とキャパシティ拡大に向けた施策を行ってまいりました。なお7月には子会社の株式会社BGベンチャーズが運営するBGベンチャーファンド第1号投資事業組合が第1号案件となる投資実行を完了させており、事業シナジー創出と潜在収益機会の発掘も目指しております

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,773,297千円（前年同期比14.9%増）、売上総利益は1,187,481千円（前年同期比20.9%増）、営業利益は159,331千円（前年同期比37.7%増）、経常利益は158,483千円（前年同期比34.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85,800千円（前年同期比13.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」、および海外営業拠点を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて、利用頻度向上施策に注力し、EC経由売上高のさらなる拡大を目指してまいりました。また急成長カテゴリーである化粧品・材料の売上をさらに伸ばすべく、新規取引口座開拓によるブランドラインナップの拡充と、プライスリーダーシップ戦略で、市場シェア獲得に注力してまいりました。

この結果、EC売上高が前年同期比23.4%増（物販売上構成比率73.4%）、化粧品・材料売上高が前年同期比28.7%増（物販売上構成比率47.7%）と大きく成長し、物販事業全体としての売上高は2,946,630千円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は136,630千円（前年同期比56.7%増）となりました。

店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

これまでトレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで、独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、チェーン店本部や大型店舗からの受注を多数獲得しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、春の開業ラッシュ期の反動もあり完了工事件数自体はやや伸び悩みましたが、売上総利益率を改善することが出来ました。当事業の売上高は716,664千円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は55,196千円（前年同期比13.5%増）となりました。

その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュースサービス、居抜き物件仲介サービス、集客支援サービス、講習・アカデミー、保険サービス、システム導入支援サービス、店舗リース、M&A仲介サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、店舗リース事業、講習・アカデミー事業が堅調に推移した一方で、集客支援事業、居抜き物件仲介事業がやや低迷し、当事業の売上高は110,003千円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は4,842千円（前年同期比62.9%減）となっております。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%減少し、4,891,784千円となりました。これは、主に現預金及び棚卸資産の減少によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、1,445,102千円となりました。これは、主に有形固定資産の増加によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.5%減少し、2,236,088千円となりました。これは、主に仕入債務の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、327,447千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、3,773,350千円となりました。これは主に自己株式の取得による減少100,768千円があったことと、親会社株主に帰属する四半期純利益85,800千円の増加に対し、配当金の支払い157,379千円があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|----------|---------|------------|
| 店舗設計事業 | 620,638 | 0.9 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 金額は製造原価によっております。

仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 仕入高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|----------------|-----------|------------|
| 物販事業 | 1,718,730 | 1.5 |
| その他周辺ソリューション事業 | 40,640 | +29.2 |
| 合計 | 1,759,370 | 1.0 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 金額は仕入価格によっております。

受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高(千円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|----------|---------|------------|----------|------------|
| 店舗設計事業 | 845,048 | +19.9 | 323,708 | 8.2 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 区分 | 販売高(千円) | | 前年同四半期比(%) |
|----------------|----------|--------------|--------------|------------|
| | | 前第1四半期連結累計期間 | 当第1四半期連結累計期間 | |
| 物販事業 | | 2,480,575 | 2,946,630 | +18.8 |
| | 理美容機器 | 1,227,392 | 1,375,959 | +12.1 |
| | 化粧品等 | 1,091,866 | 1,404,966 | +28.7 |
| | 金属スチール家具 | 161,316 | 165,704 | +2.7 |
| 店舗設計事業 | | 693,759 | 716,664 | +3.3 |
| その他周辺ソリューション事業 | | 109,395 | 110,003 | +0.6 |
| 合計 | | 3,283,731 | 3,773,297 | +14.9 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 21,160,000 |
| 計 | 21,160,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年7月31日) | 提出日現在 発行数(株) (2019年9月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 6,376,000 | 6,376,000 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は100株 であります。 |
| 計 | 6,376,000 | 6,376,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年7月31日 | | 6,376,000 | | 768,385 | | 719,652 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年7月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------|----------|---|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 63,500 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 6,309,000 | 63,090 | 単元株式数は100株であります。権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 |
| 単元未満株式 | 普通株式 3,500 | | |
| 発行済株式総数 | 6,376,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 63,090 | |

【自己株式等】

2019年7月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社ビューティガ レッジ | 東京都世田谷区桜新町1丁 目34番25号 | 63,500 | | 63,500 | 1.0 |
| 計 | | 63,500 | | 63,500 | 1.0 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年5月1日から2019年7月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年5月1日から2019年7月31日まで)の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,052,533 | 1,713,901 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,163,717 | 1,172,718 |
| 営業投資有価証券 | - | 20,035 |
| 商品及び製品 | 1,635,124 | 1,429,317 |
| 仕掛品 | 83,264 | 99,426 |
| その他 | 506,694 | 471,487 |
| 貸倒引当金 | 16,969 | 15,102 |
| 流動資産合計 | 5,424,365 | 4,891,784 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 251,499 | 353,702 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 146,732 | 164,654 |
| その他 | 308,100 | 307,703 |
| 無形固定資産合計 | 454,832 | 472,357 |
| 投資その他の資産 | 696,664 | 619,042 |
| 固定資産合計 | 1,402,997 | 1,445,102 |
| 資産合計 | 6,827,362 | 6,336,886 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,233,436 | 895,944 |
| 短期借入金 | 47,000 | 75,453 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 157,802 | 130,399 |
| 未払金 | 280,290 | 214,339 |
| 未払法人税等 | 149,315 | 76,159 |
| 前受金 | 240,832 | 285,655 |
| 賞与引当金 | 50,628 | 114,531 |
| 訴訟損失引当金 | 12,274 | - |
| その他 | 506,658 | 443,604 |
| 流動負債合計 | 2,678,238 | 2,236,088 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 158,400 | 136,753 |
| 退職給付に係る負債 | 8,434 | 8,113 |
| ポイント引当金 | 74,442 | 77,826 |
| 資産除去債務 | 44,224 | 44,797 |
| その他 | 53,263 | 59,955 |
| 固定負債合計 | 338,764 | 327,447 |
| 負債合計 | 3,017,003 | 2,563,535 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 768,385 | 768,385 |
| 資本剰余金 | 712,345 | 712,345 |
| 利益剰余金 | 2,269,475 | 2,287,025 |
| 自己株式 | 351 | 101,119 |
| 株主資本合計 | 3,749,854 | 3,666,636 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 6,102 | 23,811 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,102 | 23,811 |
| 新株予約権 | 1,028 | 1,028 |
| 非支配株主持分 | 65,578 | 129,498 |
| 純資産合計 | 3,810,358 | 3,773,350 |
| 負債純資産合計 | 6,827,362 | 6,336,886 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 3,283,731 | 3,773,297 |
| 売上原価 | 2,301,891 | 2,585,816 |
| 売上総利益 | 981,839 | 1,187,481 |
| 販売費及び一般管理費 | 866,113 | 1,028,150 |
| 営業利益 | 115,726 | 159,331 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1 | 54 |
| 仕入割引 | 152 | 168 |
| 受取手数料 | 391 | 511 |
| 為替差益 | 1,277 | - |
| 助成金収入 | - | 570 |
| その他 | 1,334 | 536 |
| 営業外収益合計 | 3,157 | 1,841 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 599 | 588 |
| 為替差損 | - | 897 |
| 障害者雇用納付金 | 360 | 480 |
| その他 | 35 | 723 |
| 営業外費用合計 | 994 | 2,689 |
| 経常利益 | 117,889 | 158,483 |
| 特別利益 | | |
| 訴訟損失引当金戻入額 | - | 840 |
| 特別利益合計 | - | 840 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 117,889 | 159,324 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 37,140 | 81,055 |
| 法人税等調整額 | 4,557 | 6,626 |
| 法人税等合計 | 41,697 | 74,428 |
| 四半期純利益 | 76,191 | 84,895 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失() | 442 | 904 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 75,748 | 85,800 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 76,191 | 84,895 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 314 | 14,195 |
| 四半期包括利益 | 75,877 | 70,699 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 75,683 | 74,466 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 193 | 3,766 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

| |
|---|
| 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日) |
| 前連結会計年度まで持分法を適用しない非連結子会社であった、台湾美麗平台股份有限公司については、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。 |

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 28,338千円 | 31,346千円 |
| のれんの償却額 | 9,999千円 | 11,572千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年6月14日 取締役会決議 | 普通株式 | 55,957 | 9.00 | 2018年4月30日 | 2018年7月27日 | 利益剰余金 |

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年6月13日 取締役会決議 | 普通株式 | 57,379 | 9.00 | 2019年4月30日 | 2019年7月26日 | 利益剰余金 |

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|------------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 物販事業 | 店舗設計事業 | その他周辺ソ リユーション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,480,575 | 693,759 | 109,395 | 3,283,731 | | 3,283,731 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 126,025 | 18,206 | 8,674 | 152,905 | 152,905 | |
| 計 | 2,606,601 | 711,965 | 118,069 | 3,436,636 | 152,905 | 3,283,731 |
| セグメント利益 | 87,203 | 48,639 | 13,056 | 148,899 | 33,172 | 115,726 |

(注)1. セグメント利益の調整額 33,172千円には、セグメント間取引消去14,661千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 47,833千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|------------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 物販事業 | 店舗設計事業 | その他周辺ソ リユーション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,946,630 | 716,664 | 110,003 | 3,773,297 | | 3,773,297 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 15,892 | 13,776 | 1,672 | 31,341 | 31,341 | |
| 計 | 2,962,523 | 730,440 | 111,675 | 3,804,639 | 31,341 | 3,773,297 |
| セグメント利益 | 136,630 | 55,196 | 4,842 | 196,669 | 37,338 | 159,331 |

(注)1. セグメント利益の調整額 37,338千円には、セグメント間取引消去8,375千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 45,713千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 11.93 円 | 13.51 円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 75,748 | 85,800 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円) | 75,748 | 85,800 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,348,725 | 6,350,087 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 11.93 円 | |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円) | | |
| 普通株式増加数(株) | 2,451 | |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

2 【その他】

2019年6月13日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|-------------------|------------|
| 配当金の総額 | 57,379千円 |
| 1株当たりの金額 | 9円00銭 |
| 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 2019年7月26日 |

(注) 2019年4月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年9月12日

株式会社 ビューティガレッジ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 塚 亨

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 山 太 一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティガレッジの2019年5月1日から2020年4月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年5月1日から2019年7月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年5月1日から2019年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティガレッジ及び連結子会社の2019年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。